

※写真は2021年に開催したイベント時に撮影したものです

Sport climbing
Experience
2022

TOMOA NARASAKI

1996年6月22日、栃木県生まれ。10歳で競技を始め、高校卒業後にプロ宣言。2016年、W杯初優勝。'16年、'19年にはW杯年間総合優勝。'19年の世界選手権では、ボルダリングと複合の2種目を制覇。正式種目となった東京2020五輪では4位入賞を果たした。170cm、60kg

榑 崎 智 亜

[世界トップクライマーが指導]

「クライミングの未来をつくる体験会」

8月27日、キッズクライマーを対象にしたスポーツクライミング体験会が、3年ぶりに対面型で開催される。子ども達を指導する榑崎智亜に今回のイベントへの想いを聞いた。

福田剛=文
text by Tsuyoshi Fukuda

山元茂樹=写真
photograph by Shigeki Yamamoto

ようやく日常が戻ってきた。今シーズン、榑崎智亜はクライミングW杯にボルダリング種目の日本代表として出場。スイス、韓国、イタリアなど毎月のように世界各地を転戦している。さらに7月にはアメリカ・バーミングガムで開かれるワールドゲームズに、リード種目の日本代表としての出場が決まっている。

2020年以降のコロナ禍により大会の延期や中止が相次いだ。さらに出入国の際には隔離期間を設けることが義務づけられ、コンディション調整に苦しめられた。そんな日々が徐々に変わり始めている。

「ほとんどの国がワクチンを接種しなければ、隔離期間なしで入国できるようになりました。観客も海外の大会では普通に入っ

ています。やっぱり声援があると選手はモチベーションが全然違います」

そして8月のNumberとアイディホムのコラボレーションによる「家族で楽しむスポーツクライミング体験会」も、3年ぶりに対面型での開催が決まった。

大会を転戦する合間を縫って、会場でも子ども達を指導する世界トップクライマーもこの決定に顔をほころばせる。

「みんなすごいエネルギーをもっているのでも僕が元気をもらっています。実際に会って、話をしても、触れ合える。こんな機会は1年を通してなかなかないので、すごく楽しみにしています」

毎回100人近くの子も達が参加するこの体験会を榑崎は「日本スポーツクライミング界の、これから、を作る大事なイベント」と位置付けている。

「ユース（17歳以下）の選手たちのレベルがどんどん上がっていて、日本は世界有数の強豪国になっています。参加者のなかにも将来、スポーツクライミングの選手になることを夢見ている子ども達がいると思います。みんながこれからのクライミング界を盛り上げていく力になると思うので、ぜひ多くの人に参加してほしいですね」

今シーズンは、24年のパリ大会を目指すクライマーにとって、来年から始まる日本代表予選シリーズに向け、ベースを高める大切な1年となる。

「21年の東京大会ではずっと目指していたメダルという目標は達成できなかったんですけど、そこで立ち止まらずにトレーニングを積んできました。その成果を形に残すためにも、W杯で3度目の年間チャンピオンを狙っていきます」

体験会に参加すると、金メダルを手にした榑崎智亜選手の姿を見られるというご褒美もありをうだ。